

保育園の自己分析

LateralKidsグループ 保育所ちびっこランド東茨木園

保育所保育指針には、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。LateralKidsでは、上記の件を実施するにあたり、「評価」とは第三者が行うものであるため、自ら行うものを【自己分析】と位置づけ実施いたしました。

保育園としての自己分析について、分析の項目、視点、方法および結果を下記のとおり公表するものとします。

〈 分析について 〉

分析にあたっては、以下のような基準で全職員で行い、合計をして平均を出しています。

100%・・・かなりできている

70%・・・ほぼできている

40%・・・あまりできていない

10%・・・ほとんどできていない

1. 保育の基本的理念と実践に係る観点

項目	内容
保育理念	LateralKidsの保育理念・方針・目標を職員が理解し、実践している
子どもの最善の利益の考慮	子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場になることを理解している 子ども一人一人の人格を尊重し、子どもが自分の意見や思いなどを保育者などの大人にはっきり伝えることができるよう配慮している
子どもの理解	各年齢の心身の発達段階を理解している 子どもの行動のみにとらわれず、その奥にある背景を探り、気持ちに寄り添ったり、子どもの立場にたって考えるよう努めている 子ども一人一人の個性や成長のペースを尊重し、ありのままを受け止めて保育にあたっている 子どもの置かれている家庭環境等の理解に努め、一人一人に応じた働きかけを心がけている
保育の計画及び評価	全体的な計画は、保育の連続性を考え、全年齢の発達の見通しが持てるよう立案されている 日常の保育を通して、子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている 各年齢の子どもの発達状況に即した指導計画となっている 日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、指導計画を立案している 子どもが主体的に活動できるよう環境設定をしている 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している 子どもの実態や状況の変化に応じて、柔軟に指導計画の見直しや改善を行っている 指導計画の評価反省を行い、その結果を次の指導計画に活かし保育の改善に努めている

2. 家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点

項目	内容
<p>入園する 子どもの家庭と の連携と 子育て支援</p>	<p>利用者のプライバシー保護について、マニュアルの読み合わせや、園内における工夫等、組織として具体的に取り組んでいる</p>
	<p>入園時に、子どもの生育歴、既往歴、発達状況、家庭状況等を把握するため、子どもと保護者との面接を行っている</p>
	<p>家庭の状況や保護者との情報交換について、子ども一人一人に必要な配慮や課題が明示され、保育に活かしている</p>
	<p>保護者に対して相談や助言を行う際は、保護者の受容、自己決定の尊重、プライバシーの保護や守秘義務などの基本的姿勢を踏まえ、子どもと家庭の実態や保護者の心情を把握し、保護者自身が納得して解決に至ることができるよう努めている</p>
	<p>保育及び子育てに関する知識や技術など、保育士等の専門性や、子どもが常に存在する環境など、保育園の特性を活かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努めている</p>
	<p>送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加え、必要に応じて別に機会を設けて相談に応じたり個別面談を行っている</p>
	<p>「園だより」などを、定期的に発行している</p>
	<p>子どもの成長や、日頃の保育内容を共有したり保護者同士の関わりの機会として、保護者参加の行事を設けている</p>
	<p>あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が参加の予定を立てやすくしている</p>
	<p>保護者に育児不安等が見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めている 不適切な養育等が疑われる家庭には、市町村や関係機関と連携し、適切な対応を図っている。また、虐待が疑われる場合には、速やかに市町村又は児童相談所に通告している</p>
<p>地域の保護者等 に対する 子育て支援</p>	<p>地域における子育て支援を実施し、地域の子育て支援ニーズを把握するよう努めている 子育て支援の情報提供をしている</p>
<p>地域における 連携・交流</p>	<p>活用できる社会資源や地域の情報を収集し、保護者等に提供している 地域の行事や活動に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れる機会を設けている 虐待対応も含め、子どもの保育の様々な場面に対応できるよう、連携を図るべき当該地域の関係機関・団体が特定され、連絡や協力が可能な状態にある 子どもにおける情報共有に関して、保育経過記録または保育所児童保育要録を作成している</p>
<p>園分析</p>	<p>88.0 %</p>

園全体の分析

意識は高く持ち保育をしていることがわかる。

職員同士もコミュニケーションを取りながら子どもを主体に考えて動いてくれています。

来年度の課題

子どもから目を離す時間を出来るだけ短くするために、保護者にご協力をお願いを呼びかけていくことが重要と感じています。

公平性を保ちながら、伝えていく難しさ

見せる保育に切り替えていかなければならないのではと思っています。

今後は、自己分析で見つかった課題の解決に向けて努力をしていきます。

ご意見などありましたら、どうぞお知らせください。保育の参考にさせていただきます。